

白馬の小径再編成事業

取組に至る背景・事業の目的

グリーンシーズンの誘客促進、自然・歴史・文化遺産の再発見を目的として、現存する「白馬小径」(全長 35 km : 整備後 49.8km) の再編成を行う。

- 村内の5つの宿泊エリア(さのさか、五竜、八方、岩岳、白馬駅)を中心にコースを細分化し、お客様のプランにあった実用可能な利便性の高いコースとして再設定する。
- 自転車と徒歩で楽しむことにより、各エリアに残る歴史、生活文化に触れることのできるコースを設定し、あわせて来訪者向けに道標とマップを整備する。
- 村内の二次交通の手段として、レンタサイクルの活用について再検証を行うとともに、「ゆっくり移動する豊かさ」を実感できるようなコース設定を行う。

事業内容

- 道標制作
白馬小径のコース設定にあわせ、50本道標を整備した。
(新設: 27本、既設入替: 20本、予備3本)
- マップ等制作
 - ・村内全体マップ(A2版 10,000枚)
 - ・エリア別マップ(A4版 50,000枚)
 - ・全体マップ、エリア別マップ英語翻訳



【整備した道標】

事業効果

- エリアマップの制作により、お客様の滞在するエリアから最寄りのコースを楽しんでいただける利便性の高いマップができた。
- 制作にあたり地元関係者からの情報提供やコース設計のアドバイス等をいただくことで、白馬村の資産である自然、歴史、文化等の景勝地をマップ上で紹介・可視化することができた。
- 信州DCキャンペーンでは、10月中の毎週末に運行されたリゾート列車で訪れるお客様に、白馬小径マップ等を配布しPR宣伝活動等を実施した。
- 本事業の成果を観光局で作成した公式ガイド(10万部)に情報掲載し、東名阪・全国へ告知を行うことができた。
- 各観光協会では、白馬小径の試乗会等を実施していただき、お客様や地元関係者にも魅力を再認識していただくことができた。また、コースの維持管理等についても、今後、地元と協力して取組む体制づくりができた。
- 村内の一部の観光協会では、レンタサイクルを常時設置するなどして、白馬小径を活用する取組みも行われた。(白馬五竜観光協会の取組み)

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 滞在されるお客様向けに、着地型旅行商品として、エリアごとのガイドツアーなどを設定し、県主催の旅行商品商談会等で旅行会社への商品提案と販路の拡大を図りたい。
- 閑散期の集客対策として、ウォーキングイベントなどを開催し、宿泊拡大につなげていきたい。

【選定のポイント】

「白馬小径」が再整備され観光素材として注目を集めるようになるとともに、英訳マップの作成によりインバウンド対策も推進された。また、道標の設置時から今後の維持管理や周辺美化にまで地域住民らが主体的に関わるなど、協働性も高い事業である。

団体名 一般社団法人 白馬村観光局(白馬村)
連絡先 電話 0261-72-7100
ホームページ
<http://www.vill.hakuba.nagano.jp/>

事業タイプ	ソフト事業
事業費	2,170,000円
支援金額	2,170,000円